ひかりごけ（1992）

メディア 映画
ジャンル ドラマ　サスペンス
製作国 日本
色彩 Color
時間 118分
初公開日 1992/04/25
公開情報 ヘラルド＝ヘラルド・エース

【解説】
戦時中、実際に起こった人肉食い事件を基に描かれた武田泰淳の同名短編小説を「海と毒薬」の社会派・熊井啓監督が映画化した問題作。極限状態に置かれた人間の心理状況に鋭く迫る。太平洋戦争最中の昭和18年12月。北海道知床半島の沖合で４人の漁師を乗せた船が悪天候に遭遇、そのまま消息を絶ってしまう。３ヵ月後、ただ一人、船長だけは飢えと寒さを耐え忍び無事に生還した。村は喜びに沸き返るが、それから数ヵ月後、船長が仲間の死肉を食べて生き延びた事実が明らかとなる。

【クレジット】
監督 熊井啓
製作 内藤武敏
相澤徹
原作 武田泰淳　『ひかりごけ』（新潮文庫刊『ひかりごけ』収蔵）
脚本 池田太郎
熊井啓
撮影 栃沢正夫
美術 木村威夫
編集 井上治
音楽 松村禎三
助監督 高根美博
出演 三國連太郎
奥田瑛二
田中邦衛
杉本哲太　Tetta Sugimoto
笠智衆
井川比佐志
内藤武敏
津嘉山正種
牟田悌三

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.